

## News Release

2009年8月6日  
NTTアドバンステクノロジー株式会社

### 省エネ・高拡張な WDM 装置の販売を開始 マルチレート対応で最大 16ch までサポート可能 ～FXC 社の「LE800 シリーズ」「LE4000 シリーズ」の販売開始～

NTTアドバンステクノロジー株式会社（以下：NTT-AT、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木 滋彦）は、既存の光ファイバを有効に活用し、多様なネットワーク構成に拡張できる、FXC 株式会社（以下：FXC 社、本社：東京都台東区、代表取締役社長：谷輪 重之）製の WDM<sup>\*1</sup> 装置 LightEdge シリーズの「LE800 シリーズ」と「LE4000 シリーズ」の販売を 2009 年 8 月 10 日（月）より開始します。

同シリーズは、当初は GbE のみのスモールスタートで、将来的には 10GbE を増設したいといった場合でも、外部ユニットを組み合わせるだけで、新たに光ファイバを調達せず、インサービス状態のまま追加することができます。自治体や大学など中規模のネットワークから通信キャリアや ISP のネットワークまであらゆる規模のネットワークに対応できる、コンパクトで高性能な WDM 装置です。

また、従来品よりも消費電力が 2/5 程度（最大 80W）のため、エネルギー費を約 60% 削減でき、かつ RoHS 指令にも対応の環境に配慮した製品です。

さらに、NTT-AT では販売・構築・保守までワンストップで実施しますので、導入から保守まで一貫した安心のサービスを提供します。

#### ■導入効果

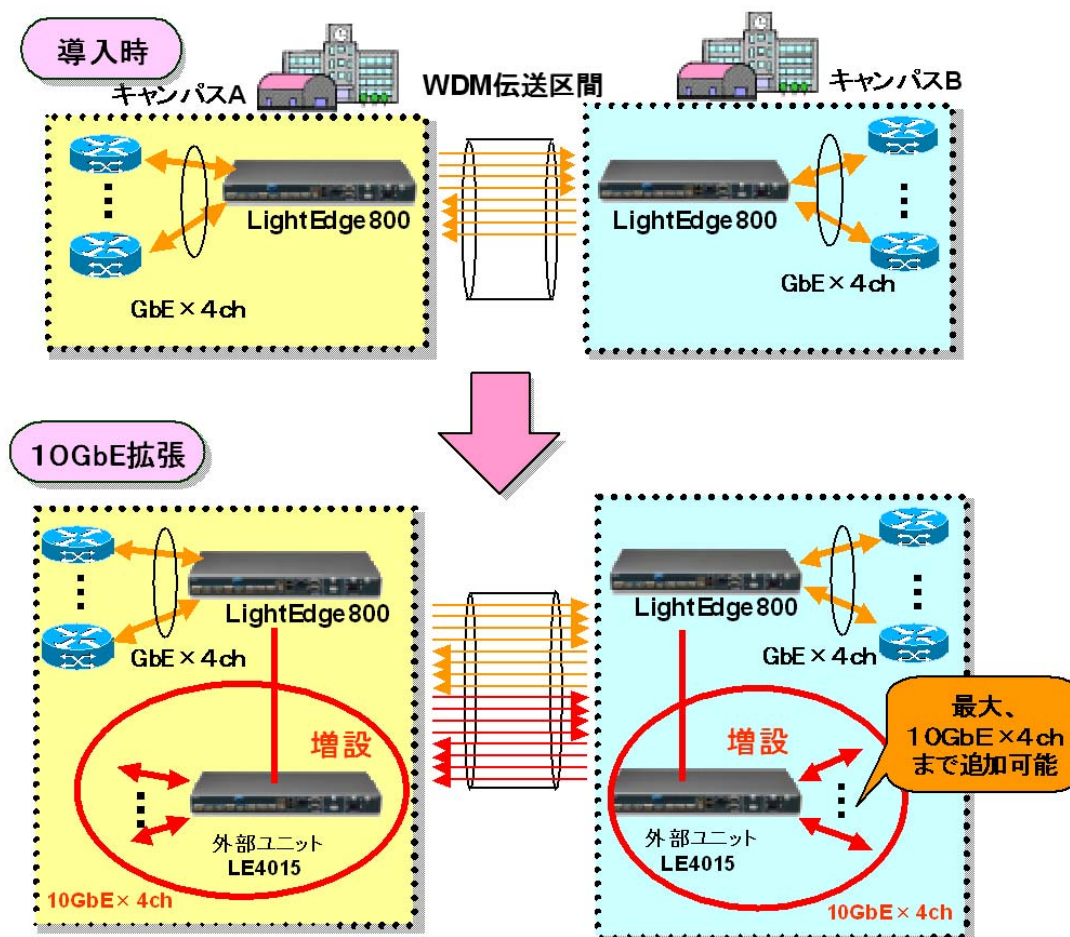
- ・ラインナップの組み合わせにより、多様なチャネル構成に対応可能
- ・ネットワーク構成の変更にシャーシ/モジュールの交換が不要  
クライアント、WDM のインターフェースに SFP<sup>\*2</sup>/XFP<sup>\*3</sup> を採用しているため、それらの差し替えだけで対応が可能。保守性も向上。
- ・外部ユニット（LE4015）と組み合わせることで、GbE ネットワークに 10GbE を容易に追加可能。新たに光ファイバを調達する必要がない。
- ・インバンド監視機能により、監視用ネットワークコストを削減
- ・エネルギーコストを約 60% 削減  
従来製品では最大 200W だった消費電力が、最大 80W の低消費電力。
- ・LE800 シリーズでは 1 芯双方向伝送で、従来の 2 倍の最大 8ch 多重伝送が可能。
- ・LE4000 シリーズでは 1 芯双方向伝送で、従来の 8 倍の最大 16ch 多重伝送が可能。

#### ■価格

お客様のご要望・規模に応じて異なります。詳細はお問い合わせください。

## ■導入イメージ【大学キャンパス間接続（1芯双方向方式）】

導入時は予算の関係上 GbE×4ch のスモールスタート。将来、10GbE 回線へ拡張する場合は、外部ユニット（LE4015）を増設するだけで、インサービス状態のまま 10GbE 回線を最大 4ch まで追加可能。



\*1 : WDM (Wavelength Division Multiplexing)

波長分割多重通信：一本の光ファイバーケーブルに複数の異なる波長の光信号を同時に乗せることによる、高速かつ大容量の情報通信手段。

\*2 : SFP (Small form factor pluggable module)

GbE、ファイバ・チャンネル、STM など光ファイバ用通信機器に使う物理層の仕様を着脱可能な形でまとめたモジュール。

\*3 : XFP(10 Gigabit Small Form Factor Pluggable)

10GbEの着脱モジュールの業界標準規格の一つ。10GbEのほか、ファイバ・チャンネルやOC-192、STM-64にも利用される。

### 本件に関するお問い合わせ先

NTTアドバンステクノロジー株式会社  
 ネットワークソリューション事業本部  
 基盤N I ビジネスユニット  
 マルチメディアN I チーム  
 担当：大島、岩津  
 TEL：03-6384-0331 FAX：03-6408-4076  
 E-mail：optical-nw@ntt-at.co.jp